

暮春の荒野

宮坂静生



マヌカンの揚げられてゐる汐干潟
徂春の濤の喰ひ合ひ見て飽かず
湘子忌や暗礁いくりの怒濤手向けたし
落椿 水平線に並べたし
木に木魂草に草魂暮の春
大西洋太平洋の点が蜷
愛憎の憎はいきもの雪柳



石楠花の藁揺れセシウムの濃度
骨灰をもて筍の灰汁抜きに
宿草しゆくぞうの私生児の芽を立てにけり
足裏に荒野の疼き春闌くる
ドイツまでつゞく下闇子ら生きよ
一夜とて熟寝はあらず青葉まで
みじめな日つゞき巢燕発光す
ひとの世の隙をいとしと郭公鳴く